

林野庁長官賞

“かごしま材”を使用した低コストで高品質な木造住宅の供給体制づくり  
住宅資材の標準化図り地域ネットワーク形成

事業組合日本産直住宅

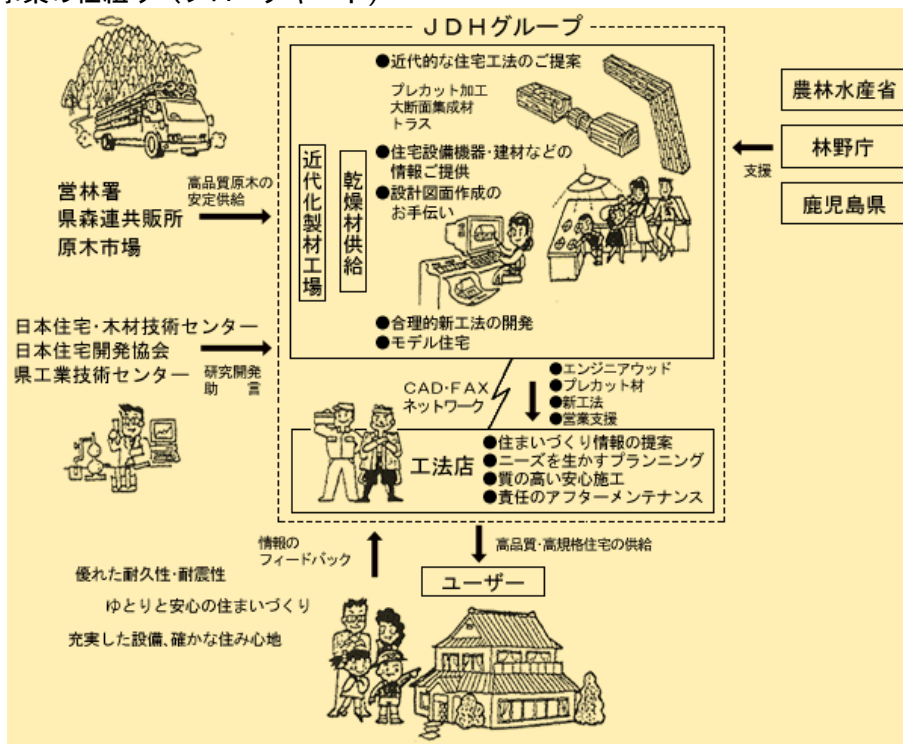
代表理事 有村 吉孝

□事業体の構成

住宅資材加工業者3、住宅建築施工業者2、  
〒899-51 鹿児島県良郡隼人町小田876-3  
TEL0995-42-0305



□事業の仕組み（フローチャート）



1 地域の概要

鹿児島県の森林は58万8,000haで、県土の64%を占めている。民有林、固有用林を合わせた人工林面積は30万4,000haで、人工林率は52%となっている。

民有林における針葉樹の面積は22万2,000haで、主要構成樹種はスギが55%、

ヒノキが33%となっている。人工林の大部分は戦後造林された林分であることから、本格的な伐採時期には達していないが、蓄積量は毎年確実に増加しており、供給力が高まることは確実である。

平成6年度の素材生産量は78万5,000m<sup>3</sup>で、これを担う素材生産業者は年々減少傾向にある。

一方、製材工場は381工場で、このうち37.5KW胃浮の工場が145社と全体の38%を占めている。

1工場当たりの原木消費量は1,899m<sup>3</sup>となっており、全国平均約2,546m<sup>3</sup>の75%にすぎず、生産性が低い状況である。

また、最近の大工技能者の不足等からプレカット加工場が増加傾向にあり、現在11工場が稼働し、平成7年には2,695棟が加工され、県内木造住宅着工戸数におけるプレカット加工率は21%に達している。

## 2 事業内容等

(1) 本組合のねらいは、木造住宅に使用する資材の標準化を図るとともに、森林所有者から木材製材業者、大工・工務店までの関連事業者のネットワークを構築することで、木造住宅の供給コストの低減化を実現し、かごしま型低コスト木造住宅の供給体制を整備し、“かごしま材”のブランド確立を図ろうとするものである。

### (2) 事業の内容

(1) 関西竹（兵庫県伊丹市、神戸市）における展示住宅を利用した普及啓発活動の実施。

(2) CAD・TV・ビデオ等による設計相談や情報資料の提供。

(3) マスメディアを活用した低コスト住宅の普及啓発活動の実施。

(4) 消費者向け家造りセミナーの実施

### (3) 施設の整備状況

本組合は、営林署・県森連等と協定を結んでおり、使用する原木は鹿児島県産の選りすぐった高品質なスギが中心で指定製材工場で製材した材を乾燥・四面プレーナー加工した後、最先端のプレカッド機械で加工・出荷している。

また、現場施工は高規格で耐久性に優れた新工法を積極的に取り入れている。

### (4) 事業の実績等

#### (1) 確かな高精度 ～あいらプレカット～

本組合の指定工場である「あいらプレカット」は、“100%安心感”をキャッチフレーズに、全国でも初めて住まいづくりのプランニングから木材加工までの処理を可能にするCAD/CAMラインとプレカット加工場の完全連動を実現した。

また、木造住宅の主要部分である構造材をはじめ、根太・間柱・筋違等の羽柄材や敷居・鴨居・欄間等の化粧造作材も一貫して加工している。乾燥材使用の高品質と現場省力化による低コスト化はもちろん、工期の短縮化や現場廃棄物（廃材）の問題解決など様々な面からのサポートをしている。

#### (2) 安心の木造住宅 ～合理化認定工法～

本組合ではこだわりの木造住宅を勧めている。中でも、日本住宅・木材技術センター認定の合理化工法「GUTT300工法」と「SCS40工法」は、本組合が自信を持って勧めている耐久性・耐震性に優れた高機能住宅である。

### (5) 事業の成果（事業の体の評価）

組合発足から現在までの建築実績（平成7年10月～平成8年9月17日現在）

関西地区施工棟数180棟（月平均15棟）

今後の需要拡大のため日本住宅・木材技術センターや協同組合日本住宅開発協会（組合員約280社）と提携し、関係各機関からの最新住宅情報を積極的に取り入れているほか、研究開発機関として鹿児島県工業技術センターを利用し、確かなデータに基づいた新工法の開発からプランニングやメンテナンスまで幅広く活用している。

### (6) 今後の取り組み

平成7年度は、昨年の阪神・淡路大震災で打撃を受けた被災地復興事業を兼ねて、主に神戸地区を中心に施工・PR活動を実施してきた。

今後は、地元九州はもちろん、関西・関東地区等の都市部から全国津々浦々まで幅広くエリアを拡張し、“かごしま材”のブランド化確立に務めることとしている。

現在、本システムを受け入れる消費地側の施工会員（新規会員）を検索している。

（具体的候補地として、福岡、堺、神奈川、茨城を検討中）

平成7年度

・展示住宅の整備

平成8年度計画

・マスメディアによる普及啓発活動

伊丹市：2世代タイプ住宅66坪	近畿地区新聞広告掲載、新聞折込みチラシ作成、ラジオによるCM
神戸市：標準タイプ43坪	・情報提供
・情報提供窓口の整備	・情報提供
設計用CADの設置による建築図面の提供、TVビデオ設置による建築工法、資材の情報提供	TVビデオによる建築工法、資材の情報提供
・マスメディアによる普及啓発活動	・消費者向け家造りセミナー実施
近畿地区新聞広告掲載、新聞折込みチラシ作成、ラジオによるCM	(伊丹市・神戸市)
・消費者向け家造りセミナーの実施	・住宅資料プラン集作成
(伊丹市・神戸市)	2階建て 100プラン
	3階建て 50プラン
	・広告パンフレット作成